

はじめに

大学における学修が中学校や高等学校と異なるのは、自らが自らの責任において毎年の学修計画を立て、卒業に必要な単位を満たしていくという点にあります。

この『履修の手引』は、受講する科目の選択・登録から試験・単位の修得、さらには進級・卒業等の重要な手続や要件を、学則や関係する諸規程等に基づいて編集したものです。

毎年、『履修の手引』や掲示の見落とし、誤った解釈等による履修手続の不備や期限遅れが原因で、受講したい科目が受けられなくなるばかりか、進級・卒業できずに留年するような事態が起きています。こうした事態を未然に防ぐためにも、学年の始めには常にこの『履修の手引』を携帯し、機会あるごとに参照して正しい認識の下に各自で学修計画を立ててください。もし不明なところがある場合は、自己流の解釈をせず、学事課（教務担当）に相談し、解決するように努めてください。

なお、『履修の手引』の記載内容が変更された場合は、掲示でお知らせしますので、見落としのないように注意してください。

『履修の手引』の構成について

各ページにある
インデックスを
利用すると
掲載項目が一目で
分かります。

I

共通事項（全学生共通）

1

授業

I 共通事項（全学生共通）

全学生を対象とした項目です。

ただし、項目によっては、入学年度別に掲載されている箇所がありますので、注意してください。

授業

1

履修

2

試験・成績

3

単位認定制度

4

学籍

5

その他

6

教務事務

7

教育課程の構成

8

進級・卒業

9

教育課程表

10

他学部・他学科開放科目／
産学連携教育プログラム

11

建築士試験受験資格取得に係る
指定科目一覧

12

編

II 編入学生特記事項

編入学生を対象とした項目です。

編入学生のみを対象とした制度等について掲載されています。

※各項目の詳細は次のページの
目次を参照してください。

目次

2018年度学年暦／建学の精神／明海大学の教育のポリシー／三つのポリシー／学部長メッセージ

I 共通事項

1 授業

1 授業	1
[1]学 期	1
[2]授業時間	1
[3]授業の出席	1
[4]授業の欠席	2
[5]休 講	3
[6]補 講	3
2 授業科目	3
[1]開 講 期	3
[2]配 当 年 次	3
[3]授業科目の種類	3
3 単 位 制	4
[1]単位制とは	4
[2]単位を修得するための学修時間	4
[3]各授業科目の単位数	4
[4]単位の認定	4

2 履修

1 履修のルール	5
[1]履修登録とは	5
[2]履修単位数の上限	6
[3]クラス指定	6
[4]再 履 修	7
[5]履修できない科目	7
2 履修登録方法	8

3 試験・成績

1 試 験	11
[1]試験の種類	11
[2]定期試験の欠席	12
[3]試験日程・受験手続	12
[4]試 験 時 間	13
[5]受験資格・受験上の注意	13
2 成 績	14
[1]成績評価・成績表記	14
[2]GPA(成績平均点数制)	15
[3]成 績 発 表	16
[4]成 績 調 査	16

4 単位認定制度

1 単位認定制度について	17
2 各制度の内容及び申請方法等	18
[1]既修得単位	18
[2]知識及び技能に係る審査の成果	20
[3]派遣留学生(短期海外研修)	30
[4]派遣学生(国内)	31
[5]インターンシップ	32
[6]ボランティア活動	32

5 学籍

1 修業年限と在学期間	33
2 学籍の異動	34
[1]休 学	34
[2]復 学	35
[3]退 学	35
[4]除 籍	35
[5]転 学 部	35

6 その他

1 明海複言語・複文化教育commons(MPPEC)	36
2 コンピュータ・コンサルティング・サロン(CCS)	36
3 科目等履修生	37
4 研 究 生	37

7 教務事務

1 証 明 書	38
2 事務取扱時間	39
3 問い合わせ	39
4 学生への連絡	40
[1]Webポータルシステムによる掲示配信	40
[2]掲示板の場所と掲示内容	40
5 交通機関の運休又は自然災害等による休講措置	41

8 教育課程の構成

1 授業科目の構成	43
2 専門科目	45
[1] コース登録	58
[2] コース変更	59
3 建築士(一級・二級・木造)試験受験資格	59
4 商業施設士補申請手続	60
5 不動産学研究	60
6 卒業論文	60

9 進級・卒業

1 進級	61
[1] 進級要件	61
[2] 進級発表	62
2 卒業	63
[1] 卒業要件	63
[2] 卒業単位充足者・卒業予定者発表	67
[3] 学位	67
3 年次(学期)別基準単位数	68

10 教育課程表

教育課程表	79
-------	----

11 他学部・他学科開放科目/産学連携教育プログラム

他学部・他学科開放科目の履修	106
産学連携教育プログラムの履修	112

12 建築士試験受験資格取得に係る指定科目一覧

建築士試験受験資格取得に係る指定科目一覧	114
----------------------	-----

II 編入学生特記事項

1 修業年限と在学期間	121
2 2年間の学修計画	121
3 既修得単位の認定(包括・弾力認定)	121
4 コース選択(2018年度編入学生)	121
5 卒業要件	122
6 その他	123
[1] クラス指定	123
[2] 修得(認定)済科目の履修	123
7 教育課程表(編入学生用)	125

2018年度 浦安キャンパス学年暦

■前学期 4/1 (日) ~ 9/13 (木)

- : 通常授業実施日
- : 休日授業実施日
- : 試験実施日

2018/ **4** April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1	2	3	4	5	6	7	4/1(日) 3/27(火) 3/28(水) 3/29(木)	学年始め オリエンテーション(3年) オリエンテーション(4年) オリエンテーション(2年)
8	9	10	11	12	13	14	3/27(火)~30(金) 3/30(金)~4/4(水) 3/30(金) 4/3(火)	成績調査願提出期間 オリエンテーション(新入生・編入学生) 産学連携教育プログラム履修ガイダンス 入学式
15	16	17	18	19	20	21	4/5(木) 4/5(木)~10(火) 4/5(木)~11(水)	前学期授業開始 単位認定申請期間 履修登録期間・履修相談期間
22	23	24	25	26	27	28	4/9(月) 4/10(火) 4/11(水) 4/12(木)	学生定期健康診断(1年) 学生定期健康診断(2年) 学生定期健康診断(3年) 学生定期健康診断(4年)
29	30						4/13(金) 4/18(水) 4/19(木)~23(月) 4/27(金)	学生定期健康診断(予備日) 単位認定発表 履修登録修正期間 前学期授業料等納入期限

5 May

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
		1	2	3	4	5	5/17(木)	創立記念日(休日授業実施日)
				憲法記念日	みどりの日	こどもの日		
6	7	8	9	10	11	12		
13	14	15	16	17	18	19		
20	21	22	23	24	25	26		
27	28	29	30	31				

6 June

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
					1	2	6/1(金)~30(土)	クリーンキャンペーン月間
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
24	25	26	27	28	29	30		

7 July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1	2	3	4	5	6	7	7/6(金) 7/12(木)~23(月) 7/16(月)	前学期定期試験時間割発表 前学期補講期間 休日授業実施日(海の日)
8	9	10	11	12	13	14	7/23(月) 7/24(火)~30(月) 7/31(火)	前学期授業終了 前学期定期試験期間 前学期定期試験欠席届提出期限
15	16 海の日	17	18	19	20	21	7/31(火)~9/13(木)	夏季休暇
22	23	24	25	26	27	28		
29	30	31						

8 August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4	7/31(火)~9/13(木) 8/21(火)	夏季休暇 9月卒業単位充足者発表
5	6	7	8	9	10	11 山の日	8/21(火)・22(水) 8/21(火)・22(水) 8/23(木)・24(金)・27(月) 8/24(金)	前学期追(再)試験時間割、該当者発表 前学期追(再)試験受験手続期間 前学期追(再)試験期間 単位認定申請期限(前学期成績反映分)
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30	31			

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
						1 休業日	7/31(火)~9/13(木) 9/1(土) 9/4(火)	夏季休暇 振替休日(休業) 9月進級発表
2	3	4	5	6	7	8 休業日	9/4(火) 9/4(火) 9/4(火)・5(水) 9/4(火)~7(金)	9月卒業予定者発表 前学期成績発表 前学期成績調査願提出期間 4年(8学期) 前学期成績調査願提出期間 1年(1学期)~4年(7学期)
9	10	11	12	13			9/8(土) 9/13(木) 9/13(木)	振替休日(休業) オリエンテーション(9月進級者) 9月学位記授与式

■後学期 9/14 (金) ~ 3/31 (日)

- : 通常授業実施日
- : 休日授業実施日
- : 試験実施日

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
					14	15	9/14(金)	後学期授業開始 履修登録修正期間 9/14(金)~21(金) 9/17(月) 9/24(月)
					← 履修登録修正期間			
16	17	18	19	20	21	22		
	履修登録修正期間							
	敬老の日							
23 秋分の日	24	25	26	27	28	29		
	30 振替休日							

10 October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
	1	2	3	4	5	6	10/8(月) 10/31(水)	休日授業実施日 (体育の日) 後学期授業料等納入期限
7	8 体育の日	9	10	11	12	13		
14	15	16	17	18	19	20		
21	22	23	24	25	26	27		
28	29	30	31					

11 November

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3	11/1(木)~30(金) 11/2(金)~5(月) 11/23(金)	クリーンキャンペーン月間 明海祭 (休講) ※準備、片付けを含む。 休日授業実施日 (勤労感謝の日)
4	5	6	7	8	9	10		
11	12	13	14	15	16	17		
18	19	20	21	22	23 勤労感謝の日	24		
25	26	27	28	29	30			

12 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
						1	12/14(金) 12/24(月)	後学期定期試験時間割発表 休日授業実施日 (振替休日) 冬季休暇 振替休日 (休業)
2	3	4	5	6	7	8	12/25(火)~ 2019年1/7(月) 12/27(木)・28(金)	
9	10	11	12	13	14	15		
16	17	18	19	20	21	22		
23 天皇誕生日	24 振替休日	25	26	27	28	29		
	30	31		休業日	休業日			

2019/ 1 January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
		1 元日	2	3	4	5	12/25(火)～ 2019年1/7(月)	冬季休暇
6	7	8	9	10	11	12	1/8(火) 1/8(火)～17(木) 1/15(火)～17(木)	後学期授業再開 後学期補講期間 休講日
13	14 成人の日	15	16	17	18	19	1/18(金) 1/19(土)・20(日) 1/21(月)	大学入試センター試験準備日(休講) 大学入試センター試験(休業) 後学期補講期間
20	21	22	23	24	25	26	1/21(月) 1/22(火)～28(月) 1/29(火)	後学期授業終了 後学期定期試験期間 後学期定期試験欠席届提出期限
27	28	29	30	31			1/29(火) 1/31(木)	春季休暇開始 単位認定申請期限 4年(8学期)

2 February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
					1	2	2/2(土) 2/8(金)	振替休日(休業) 卒業単位充足者発表
3	4	5	6	7	8	9	2/8(金)・12(火) 2/8(金)・12(火) 2/9(土)	後学期追(再)試験時間割、該当者発表 後学期追(再)試験受験手続期間 振替休日(休業)
10	11 建国記念の日	12	13	14	15	16	2/13(水)～15(金) 2/16(土)・23(土) 2/28(木)	後学期追(再)試験期間 振替休日(休業) 単位認定申請期限
17	18	19	20	21	22	23	2/28(木)	1年(1学期)～4年(7学期) 卒業予定者発表
24	25	26	27	28			2/28(木) 2/28(木)・3/1(金)	成績発表 4年(8学期) 成績調査願提出期間 4年(8学期)

3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
					1	2	3/2(土)・9(土) 3/14(木)	振替休日(休業) 学位記授与式
3	4	5	6	7	8	9	3/15(金) 3/15(金)	進級発表 成績発表 1年(1学期)～4年(7学期)
10	11	12	13	14	15	16	3/16(土)・23(土) 3/31(日)	振替休日(休業) 学年終了
17	18	19	20	21 春分の日	22	23		
24 31	25	26	27	28	29	30		

注意 学年暦の変更、授業に直接関係のある緊急事項及び諸行事等の詳細日程・場所等については随時掲示で指示します。
また、休業日は事務窓口取扱等は一切行いません。

建学の精神

社会性・創造性・合理性を身につけ、
広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす

社会性

今や、人類共存の理念は、地球の資源問題、環境問題を抜きに考えられない時代を迎えました。地球規模で進行しつつある高齢化社会に伴う労働社会問題、低迷を続ける国際経済問題、発展途上国における社会経済問題等々、解決すべき問題は山積しています。これら全人類の課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、和を重んじ、心豊かな社会性に富む人間を育成し、学際領域にも及ぶ総合的教育研究を行います。

創造性

今日、科学技術・学術研究の先端が次々に新しい展開をしており、大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しています。しかし、大切なことは、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければなりません。人類の生き方について、未来からの挑戦を受けていると言われる今日において、学問の世界は、まさに自然科学はもとより人文・社会科学などの分野においても激動の時代を迎え、学際的な領域から価値の見直しが迫られています。知の継承、創造の拠点である大学はより国際競争力を強化し、大学の多様性を発揮して、このような時代において、総合的見地から、国際未来社会を切り拓く創造性豊かな教育研究を行います。

合理性

高度情報化社会を迎え、情報量は増大し、情報なくして個々の人間は、自己の意思決定すら出来ない感を呈しています。科学技術の発達、人々の生活様式を変え、価値観にも大きな影響を及ぼすことから、科学技術の独り歩きは許されることはありません。従って、科学技術のコントロールの完全を期するとともに人間性の発揚に心がけ、未来社会を切り拓く信念が重要となります。このため、合理性ある教育研究の場を醸成します。

このように本学の建学の精神は、社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成を目指すものであります。

明海大学の教育のポリシー

本学では、「建学の精神」に基づき、大学全体としての
ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、
アドミッション・ポリシーを定めている。

ディプロマ・ポリシー

明海大学は、厳格な成績評価の下、建学の精神としての社会性（変わりゆく社会の中でも課題を発見し、主体的に解決する、思考力や判断力）の資質、創造性（自らの求めゆく理想に到達するための思考過程や技術の創造と表現力）の資質、そして合理性（主体的に行動する自律性・自立性と自己の確立）の資質が認められる人材を学位授与の基礎とし、各学部学科および研究科にて基準を定めている。

カリキュラム・ポリシー

明海大学は、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たすという創造性を建学の精神の一つとしている。大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しながらも、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければならない。その意味において、1) 大学生としての学修を通じて社会性、創造性、そして合理性を身につけ明海大学の人間力を形成するための基盤を形成する基礎教育、自らの知識技能を高める人間力形成科目、そして培った力を社会で発揮するためのキャリア教育を共通科目に置き、2) 各学部学科および研究科のディプロマ・ポリシーに到達するためのカリキュラムを専門科目として配置している。

アドミッション・ポリシー

明海大学は、建学の精神「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成」をめざして、豊かな人間力を基盤とした高度専門職業人養成を含む幅広い職業人養成を教育の目的としている。そのため、入学予定者には、学業、技術・技能、文化、芸術、スポーツなどの分野で活躍した体験を活かし、入学後、本学での学修を通して、これからの国際社会で通用する実力を身につけ、将来、各分野で活躍したいという強い意志を持つ学生を求めている。さらに、生涯学習社会の到来に対し、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく資質を有する人材の育成を目途として、生涯学習型学修に意欲的に取り組み、自己の更なる確立をめざす者を求めている。

三つのポリシー

－不動産学科－

ディプロマ・ポリシー

不動産学科では、次の要件を満たした者に学士（不動産学）の学位を授与する。

- 1 不動産学を構成する法学、経済学、経営学、工学について、基本的な考え方、考察や分析の手段、判断の基準がわかるとともに、不動産学の論考に必要な以下の知識を身につけていると判断できる。
 - ① 私法、公法の全体像を把握するとともに、不動産に関連が深い法律知識を身につけていると判断できる。
 - ② マクロ経済学、ミクロ経済学の全体像を把握するとともに、不動産に関係が深い会計知識を身につけていると判断できる。
 - ③ 建築、都市の構成について全体像を把握するとともに、不動産に関係が深い情報に関する知識を身につけていると判断できる。
- 2 不動産関連ビジネスにかかる基幹的な国家資格である、宅地建物取引士に求められる能力を身につけていると客観的に認めることができる。
- 3 不動産にかかる開発・流通・金融・経営・管理などをカバーするビジネス、ファイナンス、または、デザインについて、その仕組みがわかるとともに、これを適切に行う能力を修得したと認めることができる。
 - ① 不動産のビジネスにかかる不動産取引、不動産事業経営、不動産企業経営、不動産管理を適切に行うための必要な知識と技能を身につけていると判断できる。
 - ② 不動産のファイナンスにかかる不動産市場分析、不動産価格評価、不動産金融、不動産投資、不動産戦略を適切に行うための必要な知識と技能を身につけていると判断できる。
 - ③ 不動産の資産価値の創造にかかる不動産企画、空間デザイン、図面作成、調査診断、改善提案、不動産情報処理を適切に行うための必要な知識と技能を身につけていると判断できる。

カリキュラム・ポリシー

不動産学科は、土地、建物、地域や環境などで構成される不動産の適切なあり方を実現するための基礎となる法学、経済学、経営学、工学とともに、それらを統合する不動産学を学修することで、高度で広範な専門知識と実践力を修得することを目指すとともに、状況に対応して切り拓く人間力の涵養も目指し、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 1年次には、広く不動産に関する基礎学力を養成するために必修科目（不動産学基礎演習及び専門基礎科目群）を設けるとともに、少人数、中人数の複数クラスに分けて授業を行い、学習効果を高める。
- 2 1年次には、国家資格である宅地建物取引士資格試験に取り組んで合格する能力の育成の徹底を図るとともに、実務知識の修得を通じて不動産業と不動産学への関心を高め、併せて目標に向かって継続努力する資質の涵養を図る。
- 3 2年次からは、ビジネスコース、ファイナンスコース及びデザインコースで編成される3コー

スのいずれかを選択して所属し、各自の到達目標と目標進路の実現に必要な基礎力及び専門能力の養成を図る。

4 各コースの概要

- (1) ビジネスコースでは、不動産ビジネスを適切に行うための知識、特に不動産の取引、不動産事業の経営や管理、企業の経営に必要とされる素養を身につける。
- (2) ファイナンスコースでは、不動産ファイナンスを適切に行うための知識、特に不動産の市場分析や価格評価、不動産に対する投資や金融、不動産の活用に必要なとされる素養を身につける。
- (3) デザインコースでは、不動産を適切に創り出すための知識、特に不動産の価値を高める観点から行う不動産の企画や再生、都市や建築のデザイン、街づくり、集合住宅の管理のほか、不動産の情報処理に必要なとされる素養を身につける。

アドミッション・ポリシー

不動産学部では、土地と建物及びそれを取り巻く地域や環境などで構成される不動産が、国民の生活や企業の活動の基盤として大切であることを認識し、不動産学を学修することを通じて、その適切な在り方を実現することに強い意欲を持つ人であり、さらに、不動産学の学修成果を生かして国際未来社会で活躍するひとつの方法として、高度専門職業家として社会貢献することに興味を持ち、その権能を保証される国家資格を取得することに強い意欲を持つ次のような人材を求めている。

- 1 学際的な学問である不動産学の多様性と個別性に興味を持ち、その可能性の大きさを自覚して不動産学の学修に取り組み、土地や建物に関連するさまざまな分野で活動することに強い意欲を持つ人

対応する入試【AO入試】

- 2 不動産に関わる開発・流通・金融・経営・管理などのビジネスに興味と理解があり、不動産学の学修を通じて、これらの不動産ビジネスを改善し、社会貢献することに強い意欲を持つ人

対応する入試【企業推薦入試】【推薦入試】【全商入試】

- 3 グローバル社会で求められる相互理解と交流に関心を持ち、日本の不動産学を学修することを通じて、世界各国の不動産学、不動産業、不動産制度、不動産専門職業家の発展や改善に貢献することに強い意欲を持つ人

対応する入試【外国人留学生特別入試】

- 4 不動産学の基礎となる文章表現のための国語、数理解析のための数学、国際貢献のための英語などの学力を有し、不動産学の学修のために、継続的に努力する強い意欲を持つ人（自然科学関連科目を履修していることが望ましい）

対応する入試【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】

- 5 自らの意思に基づいた継続的な活動を通じて成果をあげた経験をもとに、不動産学の学修に対して不断の努力をする強い意欲を持つ人

対応する入試【スポーツ・文化活動特別入試】

- 6 社会での活動を背景として不動産学の重要性を認識するとともに、不動産学の専門知識を生かして活動する具体的な社会人のイメージを有し、そこに至る自己実現のプロセスとして不動産学の学修を強く希求する人

対応する入試【生涯学習型社会人特別入試】

可能性にチャレンジし 自分を磨く

不動産学部長 中城康彦

この履修の手引は、不動産学部の学生が4年間で履修すべき具体的内容を示しています。明海大学浦安キャンパスの教育課程は、各学部の共通科目としての基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育と、不動産学部の専門科目で構成され、両者相まって、真の人間力形成と理想の進路・就職の実現をめざします。

専門科目は1年生から始まります。不動産学は法学、経済学・経営学、工学を総合する学問であり、初年次は全員共通で各学問の基礎科目を学び、2年生からビジネスコース、ファイナンスコース、デザインコースに分かれ、各自の適性や目標に応じて学修します。不動産に関連する分野が拡大し、不動産の知識を持った人材が必要とされる局面が増加しています。不動産学を修めた人材が幅広い分野で求められるようになってきていることに対応したものです。

履修の手引は、多くのことを学べる可能性を示していて、大変楽しい一冊です。不動産学部の教育内容を社会人の方にお話しすると、自分も是非、不動産学を学んでみたいとおっしゃいます。不動産学部のカリキュラムを見せてほしいといわれることもしばしばです。不動産学部創設以来26年で積み上げた貴重なカリキュラムです。不動産学部のカリキュラムの特長のひとつは、可能性にチャレンジし自分を磨くためのより確実な機会を提供するために、宅地建物取引士資格試験に関連する必修科目を設け、1年生、遅くとも2年生までに宅地建物取引士資格試験に合格することに全員で挑戦することです。3年生、4年生では不動産学を深く学修して自分の専門性に磨きをかけます。誇りとチャレンジ精神をもって学んでほしいと思います。

一方で、この履修の手引では説明しきれないこともあります。

1点目は、授業期間外の過ごし方です。1年52週のうち22週は原則として授業がありません。この22週でうまく“学修”してください。留学する、インターンシップに行く、資格試験の勉強をするなど、休みごとに目標を定め、自らの開発に努めてください。

2点目は、“学修”としての就職活動です。3年生になると就職支援のための学内プログラムが始まり、終盤からは学外で就職活動することも多くなります。就職活動に打ち込むためには履修状況にゆとりがあることが必要です。計画的な履修に努め、就職活動に集中できる状況を自ら創り出してください。

3点目は、資格取得のための時間の確保です。不動産学部では宅地建物取引士資格試験に合格するために手厚い支援をしますが、それらのプログラムは別途周知されます。学期中の授業との両立、休み期間中の資格取得支援プログラムに参加する時間の確保に努めてください。

充実した大学生活を過ごすための必要条件として履修の手引を活用するとともに、各自の十分条件を付加してください。日本で唯一の不動産学部のすべての学生が最高に実りある大学生活を過ごし社会に巣立って行って欲しいと心より願います。